| 時間割番号 | 科目名[英文名] | 単位数 |
|---|---|---|
| | 造林学概論 [ Introduction to Silviculture ] | 1 |

| 担当教員(責任)[ローマ字表記] |
|---|
| 横井 秀一 [ YOKOI Shuichi ] |

| 担当教員[ローマ字表記] |
|---|
| 横井 秀一 [ YOKOI Shuichi ] |

### 授業題目(必須入力)

造林学概論 [ Introduction to Silviculture ]

### 授業のキーワード(必須入力)

造林技術、育林技術、森林施業、生産目標、目標林型、施業体系、科学的根拠、合自然の原則、持続性の原則、経済性の原則

### 授業の目的(必須入力)

森林資源の育成と保続における造林(狭義の育林を含む)の意義と、造林技術の要素である個別作業の目的と方法を科学的根拠に基づいて理解する。

### 授業の到達目標(必須入力)

1. 樹木個体の成長を制御するという視点で、造林の個別技術の目的と方法を説明できる。
2. 森林施業が個別作業の組み合わせで構築されていることを理解している。

### 授業概要(必須入力)

生物としての樹木、集団で生活する樹木としての林木、その集団としての森林という視点を基本に、森林をつくる技術(造林技術)と育てる技術(育林技術)の理論と方法を解説する。また、既往の技術体系に触れながら、個別作業の関連性を考察し、各種の森林施業の成り立ちを解説する。

### 授業スケジュール(必須入力)

1. 林業における造林・育林の意義
2. 森林の更新(天然更新と植栽)
3. 造林樹種と適地適木
4. 林木の成長と森林の発達
5. 初期保育(種間競争の制御)
6. 間伐(種内競争の制御)
7. 森林の保続(収穫と更新のデザイン)
8. 造林に関する課題と展望

### 授業時間外学習にかかわる情報(必須入力)

森林を観察したり、実際に作業したりする際、講義内容を思い出し、作業の意義・必要性・評価をする癖をつけること。森林生態学・森林立地学的な視点を持つことで、より理解が深まり、適確な判断ができるようになる。

### 成績評価方法(必須入力)

レポート

### 受講条件(任意入力)

### 受講のルール(任意入力)

## 教科書 （購入する必要のある図書）（必須入力）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教科書1 | 書名 | 該当なし | | | ISBN | |
| | 著者名 | | 出版社 | | 出版年 | |
| 教科書2 | 書名 | － | | | ISBN | |
| | 著者名 | | 出版社 | | 出版年 | |

## 参考書 （購入する必要はないが，推奨する図書）（必須入力）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 参考書1 | 書名 | 森づくりの原理・原則 | | | ISBN | 978-4-88138-357-5 |
| | 著者名 | 正木隆 | 出版社 | 全国林業改良普及協会 | 出版年 | 2018 |
| 参考書2 | 書名 | 造林学 第四版 | | | ISBN | 978-4-254-47051-2 |
| | 著者名 | 丹下健・小池孝良 編 | 出版社 | 朝倉書店 | 出版年 | 2016 |

## 教科書・参考書に関する補足情報（必須入力）

パワーポイントを使って講義する。そのスライドを印刷した資料を配付する。

## オフィスアワー（必須入力）

E-mailによる連絡。

## 連絡先（必須入力）

yokoi@silviculturetech.com

## 参照ホームページ（任意入力）

## その他（任意入力）

造林技術は職人技ではなく、科学技術です。造林学は、その科学技術を支える学問分野です。造林学の知識は、目的や現場に応じた施業を展開するための基礎体力になるはずです。